

被保険者・ ご家族のみなさまへ

今回、『けんぽモリナガ』の臨時号を発行いたしました。当健保組合は納付金や医療費等支出の増加により、大変厳しい状況にあります。これを受けて開催された財政健全化検討委員会において理事長あて答申を策定し、提出いたしました。最終的には平成28年2月に開催される第201回組合会で決定いたします。今回、その答申内容をご報告いたします。ぜひ、主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

森永健康保険組合

※当健康保険組合では、別途積立金が2年後に枯渇する場合、財政健全化検討委員会を設置・開催することが理事会・組合会で確認されています。

全国の健保組合を 取り巻く状況

平成20年度に高齢者の医療費を支える仕組みが変更されてから、健保組合の財政は急速に悪化しました。その原因として、後期高齢者医療制度への支援金に加え、前期高齢者納付金の拠出による過重な負担が、保険料収入の半分近くを占めるようになったことなどがあげられます。

健保組合では、積立金を取り崩したり保険料率を引き上げたりして何とか運営していますが、すでに限界を超えており、健保組合制度の存続にかかわる深刻な問題となっています。

● 財政悪化の要因

① 高齢者の増加により、高齢者の医療を支えるための医療費がアップ。

② 医療技術の高度化や、生活習慣病の増加により医療費がアップ。

現役世代は保険料の約45%を高齢者医療へ拠出しています！

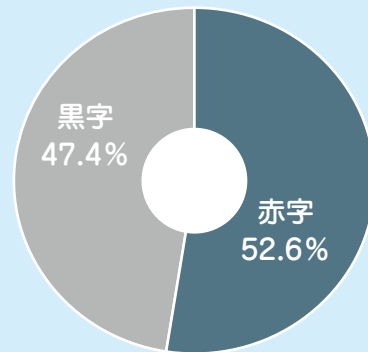


● 全国にある1409の健保組合のうち、 52・6%が赤字

平成26年度の全国の健保組合の決算見込みでは、保険料率引き上げに加え、景気好転も影響し7年ぶりの黒字となりましたが、現役世代に偏る高齢者医療費の負担構造は変わらず、依然として5割超の組合が赤字の状況です。

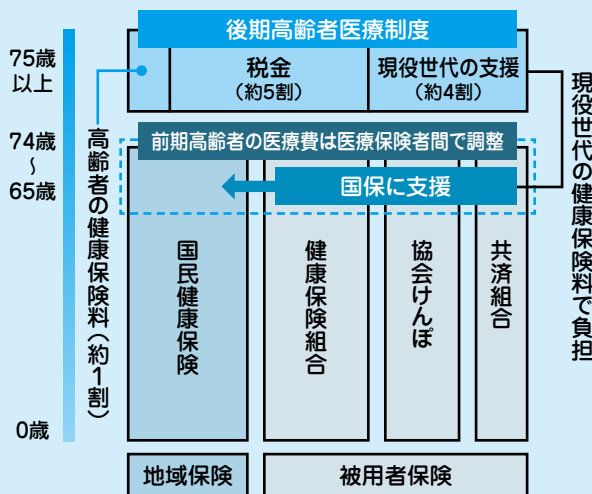
全国の健保組合の財政状況

平成26年度健保組合決算見込の概要・健保連調べ



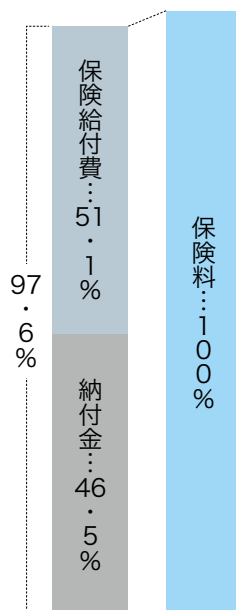
● 健保組合が負担する 高齢者の医療を支える ための費用が年々増加

高齢者のうち65〜74歳は前期高齢者医療制度に、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入していますが、そこには高齢者全体の医療費を賄うだけのお金がありません。そこで、健保組合などほかの医療保険制度からお金を出して不足分を補っています。



●保険料収入だけでは、 義務的経費が払えない

義務的経費である保険給付費と納付金の2科目で、みなさんから徴収している保険料収入のほぼ100%となっており、健保組合独自の保健事業が運営できない状況です。



●多額の赤字を解消するには、 支出を減らす努力をし、 最後に健康保険料率を引き上げ

支出を増やさないための努力

- ①病気の早期発見・早期治療、健康増進に役立つ事業の見直し
 - 各種健診 ■保養施設
 - 付加給付 など
- ②健康に役立つ情報、医療費を下げるヒントなどのお知らせ
 - 広報誌『けんぽモリナガ』
 - ホームページ など
- ③無駄な医療費を払っていないかチェック
 - 病院からの請求書(レセプト)
 - 医療費通知 など

最後の手段として
健保組合が行うのが、
健康保険料率の
引き上げです。



健保独自の
保健事業が
運営できない
状態なんて…



多くの健保組合は
支援金が
さらに増加する
ことになります。

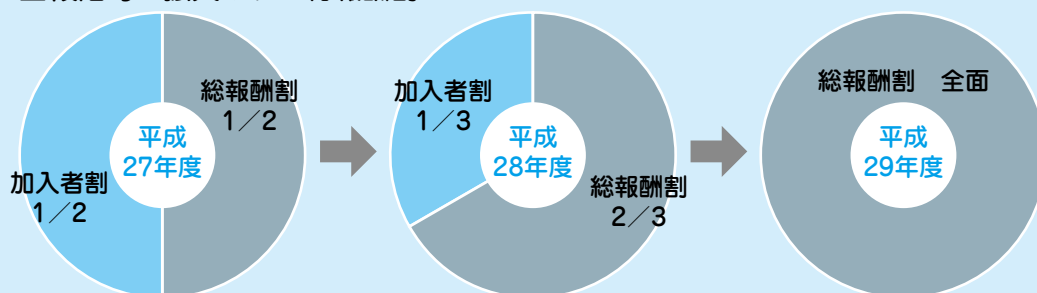


★加入者割と総報酬割
それぞれの健保組合等の加入者数（被保険者および被扶養者）に応じて求められる仕組みを加入者割、一方、被保険者の総報酬額（給与、賞与等）に応じて決められる仕組みを総報酬割と呼びます。健保組合は協会けんぽに比べ報酬水準の高い組合が多いため、総報酬割の割合が高くなるほど負担増となる傾向があります。

●平成27年度から段階的に実施
75歳以上が加入する後期高齢者医療制度に対して、健保組合等が負担している後期高齢者支援金は、従来、その額の3分の2を加入者割で、残りの3分の1を総報酬割で算定されていましたが、これを下図のように段階的にすべて総報酬割とすることとなりました。

後期高齢者支援金への全面総報酬割の導入

■段階的に拡大される総報酬割



← 次ページへ続く

森永健保組合の状況

平成28年度の変更点

平成28年度は
①～⑥の事業の
変更点があります。
ご協力をお願いします。



当健保組合においても、平成27年度見込みでは4億円以上の赤字を見込んでいます。保険料収入の半分を「みなさんの医療費（保険給付費）」に使い、残り半分を「高齢者の医療費（納付金）」にあてていることから、すでに各種事業を行う費用がまかなえなくなっています。これまでは別途積立金を取り崩して、収入の不足分を補ってききましたが、このままでは別途積立金が平成28年度末で枯渇してしまいます。

以上のような状況を踏まえ、当健保組合では「平成27年度健保財政健全化検討委員会」を3回にわたって開催し、財政立て直しを図るため、平成28年度以降、次のような事業の見直しを予定しています（5～7ページ）。

1 健康保険料率の見直し 千分の84 ↓ 千分の98

別途積立金残高が平成28年度末で枯渇する予測から、健康保険料率を平成28年度より**現行の千分の84から千分の98に改定します**（調整保険料を含む）。
※事業主と被保険者の負担割合は、別途労使協議により決定されます。

実施時期は、次のとおり平成28年度収入分（4月収入分）からとなります。

■一般被保険者

…平成28年3月分健康保険料より
（徴収と納付は翌4月）

■任意継続被保険者

…平成28年4月分健康保険料より
（納付は同じく4月）

なお、健康保険組合は新料率実施以降も引き続き財政シミュレーションを行い、その内容を理事会、組合会等に随時報告し、財政上、必要な措置を提起します。

また、今後も「2年後に別途積立金の枯渇が見込まれる場合、健保財政健全化検討委員会を開催し、料率改定の検討に入る」こととします。今後、方針の見直しがない限りこの原則を継続します。なお、別途積立金が枯渇すると見込まれる金額は資金繰りとの関係から約4億円を下回る場合とします。



2 埋葬料付加金(本人・家族)の廃止

健康保険組合は、社会生活を送るうえで、病気やけがなど不測の事態に備えるために創設された社会保険制度であり、料率を改定する場合、会社および被保険者も負担を強いられます。

埋葬料付加金については、あくまでも当組合独自の付加金であり、当組合の赤字財政を考慮し付加金を廃止します。

実施期日は、平成28年4月1日以降の事実発生分からとします。

■被保険者

現行 20,000円 → 廃止

■被扶養者

現行 10,000円 → 廃止



3 出産育児一時金付加金(本人・家族)の廃止

2と同様の理由から、出産育児一時金付加金についても付加金を廃止します。

実施期日は、平成28年4月1日以降の事実発生分からとします。

■本人・家族

現行 10,000円 → 廃止



4 傷病手当金付加金の廃止

2と3と同様の理由から、傷病手当金付加金についても付加金を廃止します。

実施期日は、平成28年4月1日以降の事実発生分からとします。ただし、平成28年3月末時点での付加給付受給者は期間満了までとなります。

現行 法定給付 + 付加金

$(\text{標準報酬日額} \times \frac{2}{3}) + (\text{標準報酬日額} \times 13.4\%) = \text{標準報酬日額の} 80\%$

見直し後 法定給付のみ $(\text{標準報酬日額} \times \frac{2}{3})$ 標準報酬日額の約66%



平成28年度の変更点

6

無料歯科健診の廃止

無料歯科健診を委託費無料で実施していますが、受診者も少なく平成28年度より委託料が発生することから、平成28年度の保健事業から廃止します。

しかし、当健保組合の保険給付のトップはむし歯ですので、医療費の削減対策として今後は定期健康診断での歯科健診の検討を図ります。

実施期日は、平成28年3月31日付で委託契約を終了します。

現行 0円 → 年間93,000円発生を廃止



5

人間ドック受診費用の事業主負担額の見直し

前回、平成22年度の健全化検討委員会にて、事業主負担分の見直しを実施していますが、依然として実績との隔たりがありますので、赤字財政を考慮し妥当な金額に見直します。

実施期日は、平成28年4月1日受診日からとします。

現行 4,000円 → 6,000円とする



●各項目の集計

検討事項		効果額(千円)	備考
1	健康保険料率の見直し	795,000	平成26年度実績
2	埋葬料付加金(本人・家族)の廃止	310	平成26年度実績
3	出産育児一時金付加金(本人・家族)の廃止	2,960	平成26年度実績
4	傷病手当金付加金の廃止	4,877	平成26年度実績
5	人間ドック受診費用の事業主負担額の見直し	8,236	平成26年度実績
6	無料歯科健診の廃止	93	平成28年度以降
7	「ハビット」の達成賞品単価の見直し	(1,500)	平成27年度より
合 計		811,476	

当健保組合の **医 療 費** の実態

生活習慣病とがんが 医療費の上位を占めています！

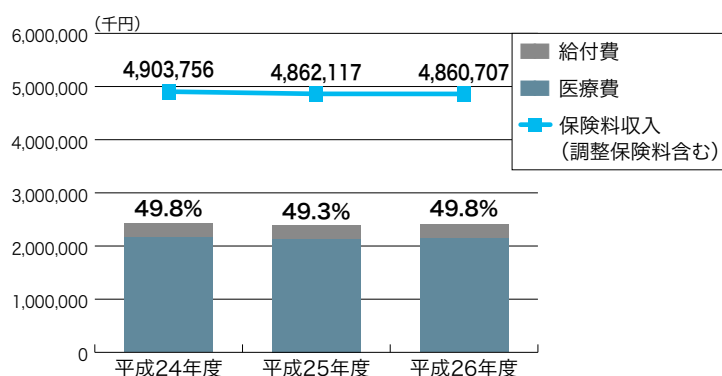
歯科の医療費も増加傾向に

森永健保組合に加入しているみなさんの医療費総額と、どのような病気で医療機関にかかったのかを、過去3年間（または5年間）の医療費データをもとにまとめました。

過去3年間の

保険給付費収支比較

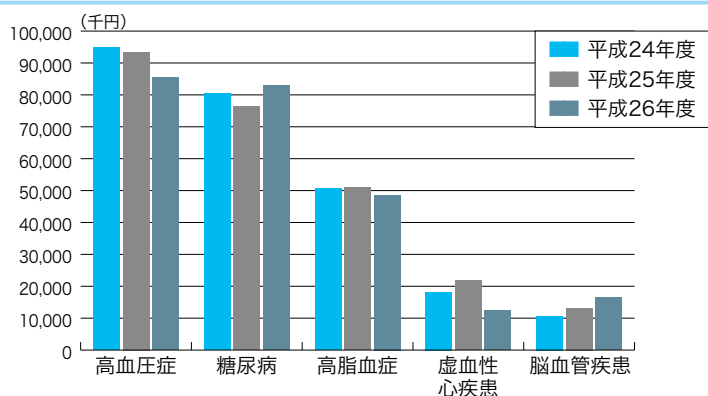
過去3年間、保険料収入のおおよそ半分が保険給付費（主に医療費）として支払われています。



過去3年間の

生活習慣病医療費（上位疾病）

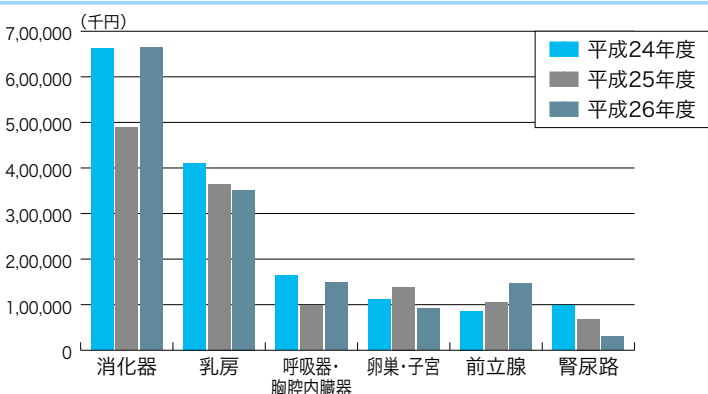
高血圧症、糖尿病の医療費が群を抜いて高くなっています。



過去3年間の

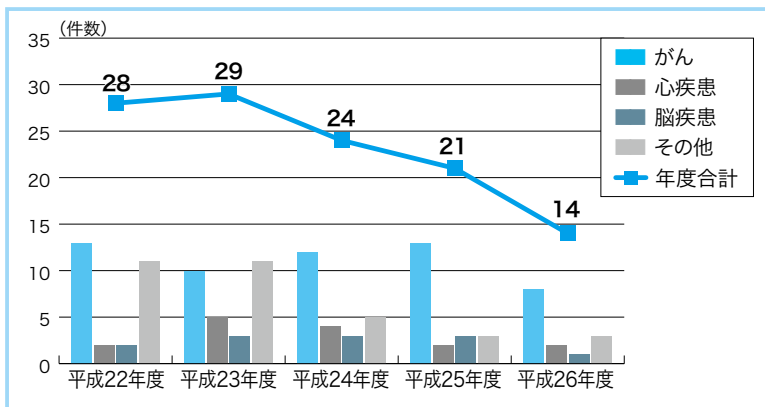
悪性新生物（がん）医療費（上位疾病）

消化器、乳房のがんの医療費が高くなっています。

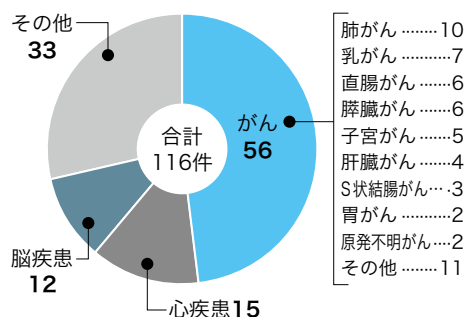


過去5年間の 死亡件数 (疾病別)

がん和生活習慣病による死亡が上位を占めています



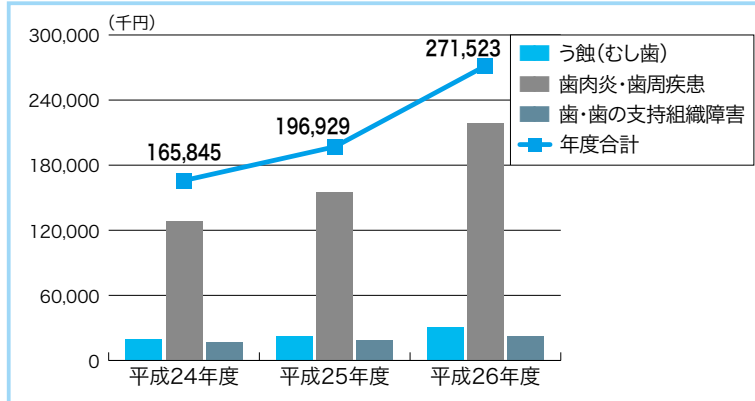
過去5年間の死亡合計件数 (件数)



過去3年間の

歯科医療費 (疾病別)

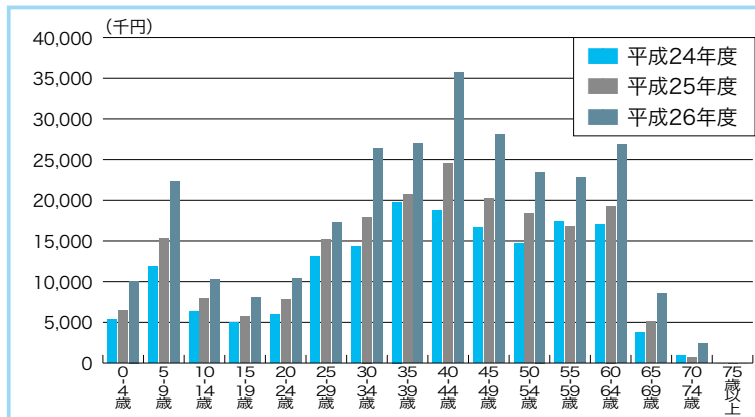
ここ数年、歯科の医療費が増加傾向にあります。歯みがきや口腔ケアによる予防を心がけましょう。



過去3年間の

歯科医療費 (年齢別)

30歳～64歳の働き盛りの年代に、歯肉炎・歯周疾患が増加しています。



健康家族は
節約上手！



医療費を抑えるために 私たちができること

適度な運動、バランスのよい食生活など、みなさん1人ひとりが健康管理に留意され、医療費の抑制につながられるようご協力ください。仮に病気にかかったとしても、早期発見・早期治療に努めることで、医療費の増加は防ぐことができます。

●互選議員（理事）辞任（敬称略）

当組合会の互選議員である下記の者は、平成27年8月27日付けで議員の職を辞任したので、組合規約第15条の規定により公示する。

氏 名	所属事業所	辞任年月日
齋藤 工（理事）	全森永労働組合	平成27年8月27日
中村 豪（理事）	全森永労働組合	平成27年8月27日
関 雄一郎	森永製菓(株)鶴見工場	平成27年8月27日

●互選議員（理事）就任（敬称略）

平成27年9月16日に開催した互選議員補欠選挙において、下記の者が当選者と決定（就任）したので、「組合会議員選挙執行規程」第24条第3項の規定により公示する。

氏 名	所属事業所
宇津木 駿	全森永労働組合
梶川 和晃	全森永労働組合
先野々 貴圭	森永製菓(株)鶴見工場

（任期：平成27年9月16日～平成28年6月15日）

Health Information

季節のトラブルに効く **食 材**

■監修 菊池 真由子 管理栄養士

冷えを改善したいとき

寒さが身に染みる季節です。体の冷えは服装や空調では補いきれないものがあります。そこで今回は、体を内側から温める方法（食材）をご紹介します。

簡単に体を温めるには、しょうがや唐辛子を食べることです。しょうがの辛み成分ジンゲロンはエネルギー代謝を活発にして体脂肪を燃焼させる働きがあり、この作用で体温が上がります。すり下ろして食べると効果的なので、八宝菜などのあんかけ料理やうどんなどに、味のアクセントや薬味としてとり入れましょう。

唐辛子も辛み成分カプサイシンが体温を上げる働きます。効率よく食べるにはキムチ鍋にするのがおすすめです。ただし、カプサイシンは量を過ぎると胃痛の原因になるので、マイルドな辛さに調節するようにしましょう。

「豚肉+にんにく」の組み合わせも、体を内側から温めます。とくにこの季節は具材に豚肉（赤身）とにんに



にんにくの成分アリシンがビタミンB₁の働きをサポート！

くを入れた鍋料理がおすすめです。豚肉に含まれるビタミンB₁は、ご飯などの炭水化物（糖質）を燃やす大事な栄養素ですが、にんにくの成分アリシンがビタミンB₁の働きをサポートするのでエネルギー代謝が活発になり、冷えの解消に役立つのです。